

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

## 適正使用のお願い

抗精神病薬・双極性障害治療薬

劇薬、処方箋医薬品

**オランザピン錠 1.25mg「アメル」**

OLANZAPINE

〈オランザピン製剤〉

抗精神病薬・双極性障害治療薬

劇薬、処方箋医薬品

**オランザピンOD錠 1.25mg「アメル」**

OLANZAPINE OD

〈オランザピン口腔内崩壊錠〉

2016年6月



謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社医薬品につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新含量規格のジェネリック医薬品である抗精神病薬・双極性障害治療薬『オランザピン錠 1.25mg「アメル」及びオランザピン OD 錠 1.25mg「アメル」』のご使用に際しましては、最新の添付文書をご参照の上、適正にご使用いただくようお願い申し上げます。

謹白

### 【参考】オランザピン「アメル」添付文書

#### 【用法・用量】

統合失調症：

通常、成人にはオランザピンとして 5～10mg を 1 日 1 回経口投与により開始する。維持量として 1 日 1 回 10mg 経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1 日量は 20mg を超えないこと。

双極性障害における躁症状の改善：

通常、成人にはオランザピンとして 10mg を 1 日 1 回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 20mg を超えないこと。

双極性障害におけるうつ症状の改善：

通常、成人にはオランザピンとして 5mg を 1 日 1 回経口投与により開始し、その後 1 日 1 回 10mg に増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、1 日量は 20mg を超えないこと。

#### 【使用上の注意 5. 高齢者への投与】

高齢者は一般的に生理機能が低下しており、また、本剤のクリアランスを低下させる要因であるので、慎重に投与すること。本剤のクリアランスを低下させる他の要因（非喫煙者、女性等）を併せ持つ高齢者では、2.5～5mg の少量から投与を開始するなど、患者の状態を観察しながら慎重に投与すること。[本剤のクリアランスを低下させる他の要因を併せ持つ高齢者では本剤のクリアランスが低下していることがある。]

※新含量規格追加に伴う用法・用量の変更はございません。